

配水調整システムによる減圧給水の強化について

福岡市では、平常時から配水調整システムを活用し、水压をきめ細かく調整する減圧給水を行っています。

筑後川水系では、少雨の影響により水源状況が大変厳しくなっています。福岡市は、市内で使用する水道水の約3分の1を筑後川からいただいていることから、筑後川水系ダム貯留水の温存を図るため、令和8年9月4日より、平常時から行っている減圧給水を強化します。

今回の減圧給水の強化は、配水管の水压をこれまで以上にきめ細かく調整することにより、市内の水使用量の抑制を図るものです。なお、ご家庭などへの給水に大きな影響が生じない範囲で実施します。

市民や事業者の皆さまにおかれましても、現在の水源状況をご理解いただき、引き続き節水にご協力をお願いします。

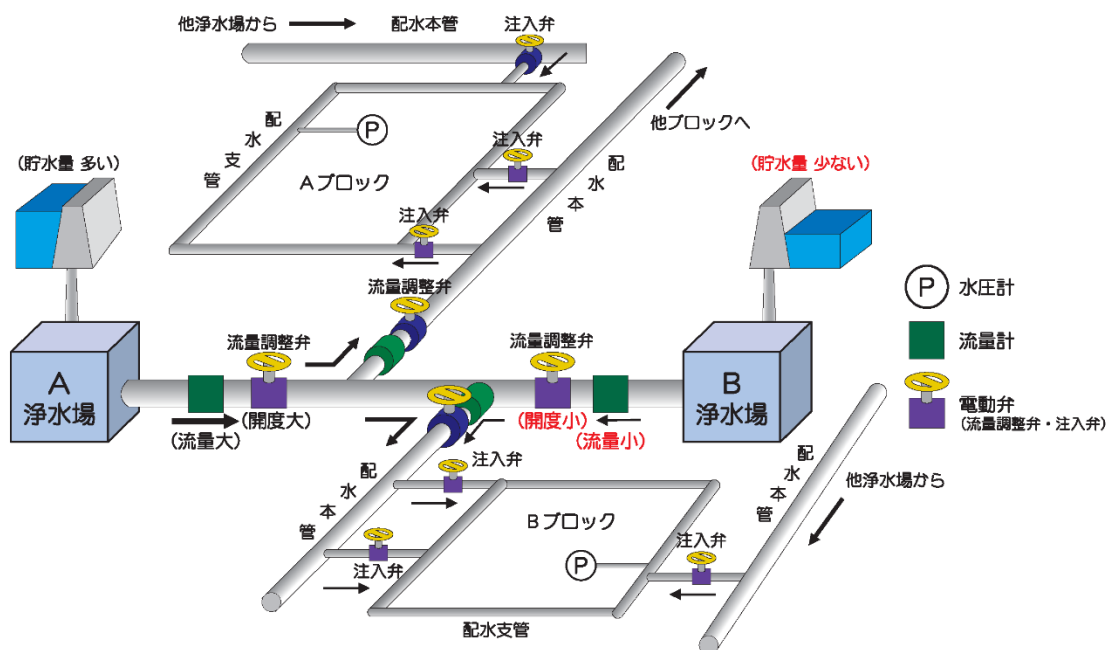
配水調整システムの概要

配水調整システムは、昭和53年の異常渇水の経験を踏まえ、昭和56年に運用を開始しました。

市内全域の配水管に設置した水压計や流量計の計測値を、水道局水管理センターにおいて24時間体制で監視しています。

時々刻々と変化する水需要に応じて電動弁を遠隔操作し、配水管の水压を適正に保つことで、漏水量の抑制を図っています。

また、水源状況に応じて各浄水場からの配水量を調整するとともに、配水管を流れる水の向きを変えることで、浄水場間で水を融通し、安定給水を確保しています。



【問合せ先】福岡市水道局水管理課

TEL : 092-483-3175 FAX : 092-482-3150